

自社の使用する電力量を削減し、 事業を通じた社会の省エネルギー化・ 自然環境保護活動への貢献に 力を入れていきます。

西日本電信電話株式会社
代表取締役社長

村尾 和俊



NTT西日本グループでは、低炭素社会の実現と循環型社会の形成に向けた自主行動目標である「環境グランドデザイン」を策定し、電力使用量削減、紙使用量削減、更には廃棄物の最終処分率削減に向け、それぞれ取り組みを進めてまいりました。

中でも、我々が特に力を入れてきたのは、電力使用量の削減です。NTT西日本グループ全体では、我が国の電力使用量の約0.24%（年間約21億kWh）にあたる大量の電力を消費しており、また、NTT西日本のサービスをご利用いただいているお客様においても、ONU（光回線終端装置）等の情報通信機器により多くの電力を消費されています。こうした状況も踏まえて、私たちNTT西日本グループは電力エネルギーを大量に消費する企業として、自ら積極的に省エネルギーや環境問題に取り組んでいくため、今年6月、「グリーンNTT西日本戦略」を策定しました。

具体的には、お客様の使用分を除く電力使用量について、「2020年度には2008年度比で40%以上削減する」ことを目標に、消費電力の多くを占める通信設備の電力使用量削減に取り組むことはもちろん、照明・空調等の電力削減に向けたエコオフィスの推進、お客様がご利用になる情報通信機器の電力使用量削減等に取り組んでいます。また、電力使用量を削減するだけでなく、自分たちで生み出すための「再生可能エネルギーの導入」も進めており、48カ所に設置している太陽光発電システムを今年度末までには更に2カ所増やし、合計約

1200kWの発電容量を確保する計画も進めています。

これらについては今後も自社努力を続けていきますが、更に私たちは、情報通信企業として「事業活動を通じた貢献」も推し進めていきたいと考えています。具体的には、現在、「省エネ」と「創エネ」の両面から取り組んでおり、「省エネ」については今年7月、家庭内の消費電力量を見える化する事で、節電及びCO₂の削減に貢献するクラウド型電力見える化サービス、「フレッツ・エコめがね」の提供を開始しました。また、「創エネ」については、昨年6月にオムロン株式会社と設立した合併会社「株式会社NTTスマイルエナジー」を通じて、太陽光パネルを使用しているユーザー向けに、発電量や消費電力量の見える化サービス「エコめがね」を展開しています。

こうしたグリーンNTT西日本戦略に基づき、環境負荷低減に向けて着実に取り組みを進めていきます。また、グリーンNTT西日本戦略の中で、より積極的に地域の環境に貢献するため植樹を中心とした生物多様性保全活動を「にしのみどりが応援するみどりいっぱいプロジェクト」として開始し、NTT西日本グループ全体で取り組んでいます。

このような取り組みを通して、NTT西日本グループの社員一人ひとりが、環境問題に対して、積極的に取り組んでいくことを皆様に約束します。

